

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年3月6日（金）

2 確認箇所

J 1 東タンクエリア

3 確認項目

J 1 東タンクエリアにおける内堰内雨水サンプリング全ベータ放射能濃度上昇事象への対応状況

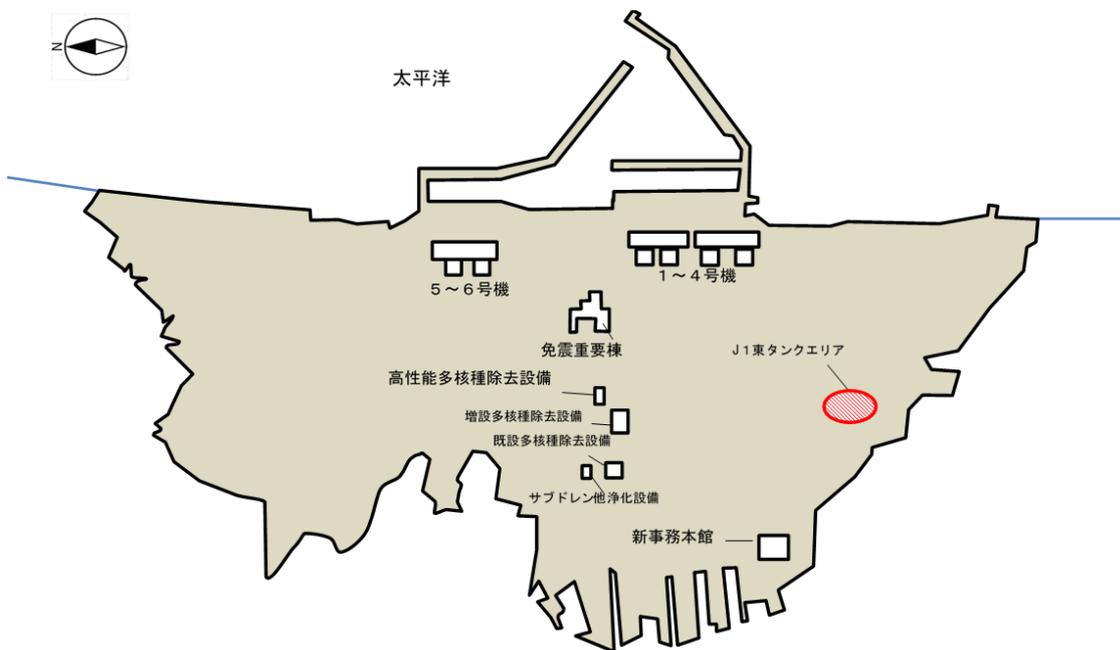
4 確認結果の概要

当該タンクエリアの内堰内雨水集水ピットについて定期サンプリング（3月2日に試料採取）を実施したところ、全ベータ放射能濃度が前回（3ヶ月前）の定期サンプリングで測定した濃度よりも約100倍高い値の約250 Bq/Lが検出されたことが3月3日に確認された。このため、3月4日に同堰内の10カ所で試料採取し分析したところ、ほぼ同じ値（190～610 Bq/L）が検出された。

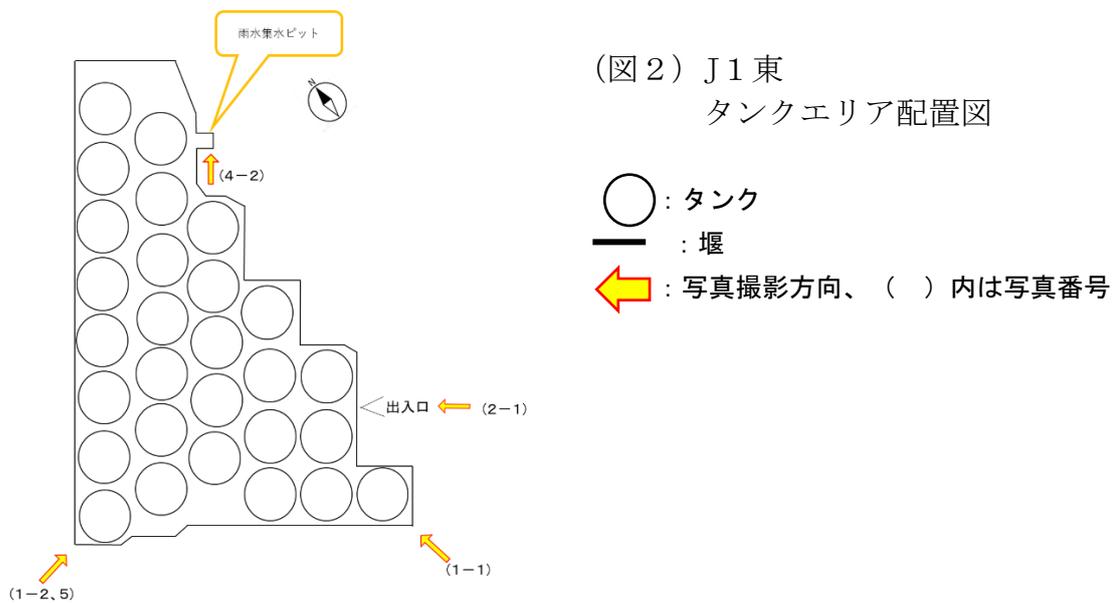
東京電力によると、雨水は堰内に留まっており、外部への漏えいはないとのことである。また、タンクマンホールや連結弁の一部に線量率の高い箇所を確認したが、原因の特定には至っておらず、作業中の漏えいや弁グランド部からのにじみの可能性を含め、引き続き原因調査するとしている。

本日は、当該事象への対応状況について、概況を確認した。（図1、写真1）

- 堰内への全ての出入口に、過剰被ばくに注意するよう掲示がなされていた。（写真2）
- 堰内には若干の雨水があった（写真3）。また、東京電力が試料を採取した箇所の一部を確認した（写真4）。
- 堰内雨水を集水している内堰内雨水集水ピットからの移送配管によると、堰内雨水はJ 1 雨水回収タンク及びJ 6-1 雨水回収タンクに送水されるよう接続されていた。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) J1東
タンクエリア配置図



(写真1-1) タンクエリア外観
(南側から撮影)



(写真1-2) 同上(西側から撮影)



(写真2-1) 堰内への出入り口の例。赤丸内は注意喚起表示。



(写真2-2) 注意喚起表示を拡大。堰内雨水は通常より高い放射能濃度であること、一部のエリアに線量が高い箇所があることから過剰被ばくに注意との掲示。



(写真3) (写真2-1)の出入り口付近の堰内の様子



(写真4-1) (写真2-1)の出入り口付近に堰内雨水サンプリング箇所である旨の表示(赤丸)があった。



(写真4-2) 内堰内雨水集水ピット



(写真4-3) (写真4-2)の内堰内雨水集水ピット外壁に堰内サンプリング箇所である旨の表示があった。

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。